



2025 年(令和 7 年)8 月 29 日

大広 WEDO と Laboro.AI 社、AIO(AI Optimization)対策プロジェクト に共同着手「AI と人に選ばれる」Web サイト設計の開発へ

～ 顧客対話データとオントロジー構造分析を活用し、AIO に取り組む ～

株式会社大広 WEDO(本社:東京都港区、代表取締役社長:大地伸和)は、株式会社 Laboro.AI(本社:東京都中央区、代表取締役 CEO:椎橋徹夫・代表取締役 COO 兼 CTO:藤原弘将)と連携し、AI 時代に対応した新たな Web 設計手法の開発プロジェクトを始動します。

本プロジェクトでは、生成 AI を活用した AIO(AI Optimization)診断と、Laboro.AI らが研究を進め「ISWC 2025 Challenge Track※1」に採択された論文のオントロジー※2による意味構造モデリングの実務応用、また Brand Dialogue AI※3(以下、BDAI)の実装による対話データを蓄積。これらを AI に最適化して活用することで、AI と人の双方に「見つけられ・選ばれる」Web サイトを実現します。

※1 ISWC 2025 Challenge Track とは:2025 年 11 月 2～6 日に奈良で開催される第 24 回国際セマンティックウェブ会議(International Semantic Web Conference, ISWC 2025)において、共通タスク形式で知識処理システムを競争・比較する「競技トラック」

※2 オントロジーとは:情報の意味と関係性を整理・構造化した「情報の地図」です。非構造化データから必要な知識を抽出し、階層構造や意味的關係、ルールまで定義することで、人間と AI の双方が共通理解できるデータ基盤を作ります。近年は大規模言語モデル(LLM)を活用し、こうした構造化を自動化する研究(LLMs4OL)も進展。Laboro.AI はこの先端技術を Web 構造改善に応用します。

※3 Brand Dialogue AI とは: 大広 WEDO と株式会社大広が開発した対話 AI エンジン

■ 背景

近年、Web サイトへの自然検索流入は減少傾向にあります。Google が提供する AI Overviews※4をはじめ、ChatGPT や Gemini、Claude などの大規模言語モデル(LLM)を通じた情報取得が一般化し、ユーザーは Web 訪問前に AI から情報や推薦を受けるケースが増えています。この変化により、従来の SEO 対策だけでは十分なトラフィックやブランド接点の確保ができなくなっています。

AI による情報参照や推薦の中で選ばれるためには、AI が正しく理解できる情報構造を作り、ブランドの意図を反映した形で回答や案内に反映されることが不可欠です。AI に正しく情報収集され、推奨してもらう仕組みを整えるため、今回プロジェクトをスタートさせています。

<上記に関するお問い合わせ> 株式会社 大広 WEDO

〒105-8656 東京都港区芝 2-14-5 TEL:03-4346-7200 MAIL : info_wedo@daiko.co.jp

※4 AI Overviews とは:Google が検索結果ページ上部に表示する、AI による情報要約機能。複数の Web 情報をまとめ、直接回答として提示する。

■ プロジェクト概要

今回開始する共同プロジェクトでは、以下の 3 ステップで Web の構造を刷新します。

ステップ 1:AIO 診断(生成 AI 活用) – 情報の「現状可視化」

- 生成 AI を用いて、現行サイトがユーザーの想定質問に正確に答えられるかを診断
- 「正しく答えられる質問」と「答えられない質問」を分類し、AI が理解できない情報や構造のギャップを特定

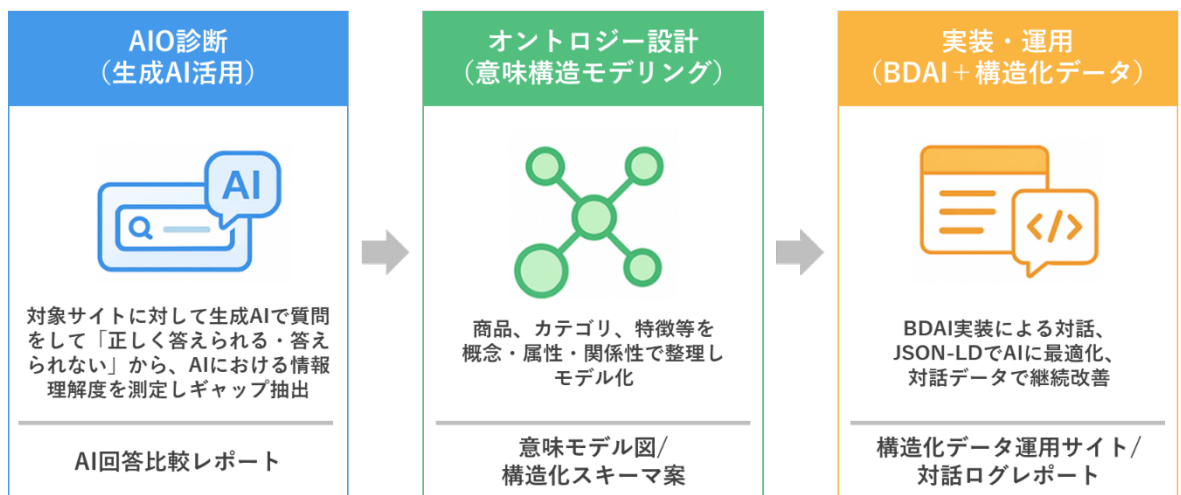
ステップ 2:オントロジー – 情報の「意味構造モデリング」

- AIO 診断で明らかになった情報ギャップを、概念・属性・関係性単位で整理し、意味構造モデルとして設計
- 商品、カテゴリ、特徴、用途、FAQなどを階層構造・関連リンク・属性値として定義
- この意味構造モデルをもとに、構造化データ(JSON-LD/Schema.org)への展開準備を行う

ステップ 3:BDAI 実装 → 対話データ蓄積 → 継続最適化

- 再構成されたサイトに BDAI を常設し、ナビゲーターとして実装
- ユーザーとの対話データを蓄積し、AI 回答精度やサイト構造を継続的に改善
- 検索・対話・推薦の精度を高める PDCA サイクルを構築

技術アプローチイメージ



■ 今後の展望

大広 WEDO と Laboro.AI は、AI 時代の顧客体験設計に挑戦する企業様と、本ツールを用いた新たな Web 体験の創造に取り組みます。

自社サイトを次のステージへ進化させたい方は、ぜひご連絡ください。

<上記に関するお問い合わせ> 株式会社 大広 WEDO

〒105-8656 東京都港区芝 2-14-5 TEL:03-4346-7200 MAIL : info_wedo@daiko.co.jp



◆ 参考:大広・大広 WEDO による AI 技術活用の取り組み

大広グループでは、これまでに「Brand Dialogue AI」や「DDDAI」など、様々な AI ソリューションを展開しており、AI×マーケティングの実用化を推進しています。

■株式会社 Laboro.AI 会社概要

会社名	:	株式会社 Laboro.AI(ラボロ エーアイ)
所在地	:	〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 11-1
代表者	:	代表取締役 CEO 椎橋徹夫 代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将
設立	:	2016 年 4 月 1 日
事業内容	:	機械学習を活用したオーダーメイド型 AI『カスタム AI』の開発 カスタム AI 導入のためのコンサルティング
URL	:	https://laboro.ai/

<上記に関するお問い合わせ> 株式会社 大広 WEDO

〒105-8656 東京都港区芝 2-14-5 TEL:03-4346-7200 MAIL : info_wedo@daiko.co.jp